

# 緊急 トップインタビュー

日本自動車連盟(JAF)宮城支部

支部長 吉岡 博文さん(64)

ウィズコロナ時代の視座を各界トップに聞く企画。今回は日本自動車連盟(JAF)宮城支部の支部長、吉岡博文さん(64)＝トヨタカローラ宮城社長＝です。

◇  
一外出自粛で人々の移動が減った影響は。

宮城県内は大型連休中、ロードサービスの救援要請が例年に比べて3割減りました。ただ車の往来自体の減り方はもっと大きかったので、そこを考えれば、救援内容の多くを占めるバッテリー上がりやタイヤのパンクなどを未然に防ぐ日頃のメンテナンスが大事だとも言えます。

一感染防止のため、車利用が見直されています。

電車やバスを利用していた人が感染リスクを少しでも避けるために、マイカーにシフトする傾向が見られます。その中には当然ペーパードライバーも、不案内な道を走り始めた人もいま

## 改めて運転の基本を訴え



す。コロナ禍で社会の在り方が変わる中、交通の安心・安全を守り続けるにはスピードの出し過ぎに注意するなど、みんなが基本を改めて心する必要があります。一方、感染予防に消毒用アルコールを携行する人が増えていますが、車への持ち込みは要注意。真夏に車内が高温になると気化し、引火する恐れがないとは言えません。コロナ後初

新型コロナウイルス

ともに  
乗り越えよう

の今夏は特に注意が必要です。

一交通安全の啓発にも取り組んでいます。

交通環境の改善とマナー向上に寄与することも、JAFの大きな使命。宮城支部としても地元の企業や学校などから要請があれば、職員が出向いて座学や実技講習会を実施しています。お気軽にご相談ください。

### information

コロナ禍で冷え込む観光業を応援するためJAFは8月15日まで、スマートフォンを介して観光気分が味わえる「家たびスタンプラリーin東北」を実施中。応募すると各地の名産品などが当たる。専用サイトは右のQRコードからアクセスできる。



企画・制作/河北新報社営業局